

化学工業薬品などの製造販売を手がける対松堂(豊川市新桜町通3、田中寛孝社長)は7月1日付で、電子回路実装基板などを製造販売する子会社の対松堂精工(同市川花町、同社長)を吸収合併する。中国やアセアン地域への製造拠点拡大を視野に、経営資源の有効活用と基盤強化を図るのが狙い。(加藤広宣)



グローバル化対応を視野に子会社を合併する対松堂。豊川市新桜町通3で

2013(平成25)年6月期のグループ売上高は273億円。このうち、対松堂精工の中国とベトナムの子会社を含む海外売上は226億円で8割に上る。合併に伴う組織改編で、対松堂の化学工業薬品・医薬品と包装材の製造販売は「化学工業事業部」、対松堂精工の電子回路基盤の設計・製造・販売は「電子事業部」が担う。

対松堂は1953(昭和28)年に田中对松堂薬局を開設、起源は慶応年間にさかのぼる

合併に伴う組織改編で、対松堂の化学工業薬品・医薬品と包装材の製造販売は「化学工業事業部」、対松堂精工の電子回路基盤の設計・製造・販売は「電子事業部」が担う。

対松堂は1953(昭和28)年に田中对松堂薬局を開設、起源は慶応年間にさかのぼる

合併に伴う組織改編で、対松堂の化学工業薬品・医薬品と包装材の製造販売は「化学工業事業部」、対松堂精工の電子回路基盤の設計・製造・販売は「電子事業部」が担う。

豊川の対松堂
グローバル戦略

子会社を吸収合併へ

アセアン地域など海外見据え

併後の従業員数は2138人(4月末計算)。

新会社は田中氏が社長、対松堂の代表権を持つ田中辰治会長(対松堂精工会長兼務)は相談役に就く予定。

老舗企業。56年に工業薬品販売を開始。

両社の資源有効に活用

対松堂精工は74年設立。複写機などの電子回路実装基板をはじめ、自動車部品や産業用ロボットなどの基盤も手がける。現在、中国とベトナムに現地法人4社を置く。田中社長は「大手メーカーはアセアン地域への投資を活性化させている。両社の資源を共有化してグローバル化に対応したい」と話した。